

令和元年度
天理市政アンケート調査報告書

<男女共同参画編>

令和2年3月
天理市

アンケート調査の概要

(1) 調査方法

1. 調査対象

令和元年7月25日現在で天理市内に在住する18歳以上の人3,000人
(住民基本台帳および外国人登録データから無作為抽出)

2. 実施方法

郵送による調査票の配布、郵送及びインターネットによる回収

3. 調査期間

令和元年8月20日(火)～令和元年9月6日(金)

(2) 回収結果

対象者	有効回答数	回収率
3,000人	694人 (うち、インターネットによる回答数 63人)	23.1%

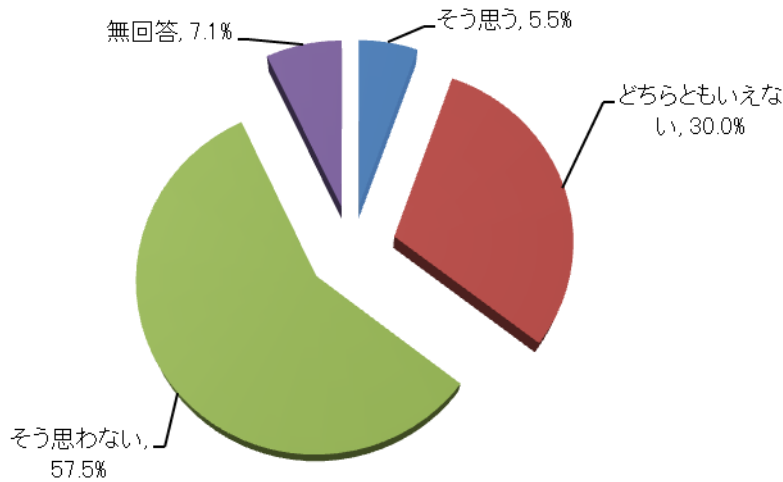
(3) 報告書の注意点

- ・百分率(%)は小数第2位を四捨五入して表示しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。複数回答の構成比率の合計は100%になりません。
- ・一部の人を対象とする質問では、対象者数を分母にして比率を算出しています。
- ・二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

男女共同参画意識について * * * * *

社会情勢や地域の実情に対応した男女共同参画のまちづくりを進めるために、天理市が取り組むべき課題と今後の施策の方向性を明らかにすることを目的として、問 10 では、男女共同参画に関する意識調査を実施しました。

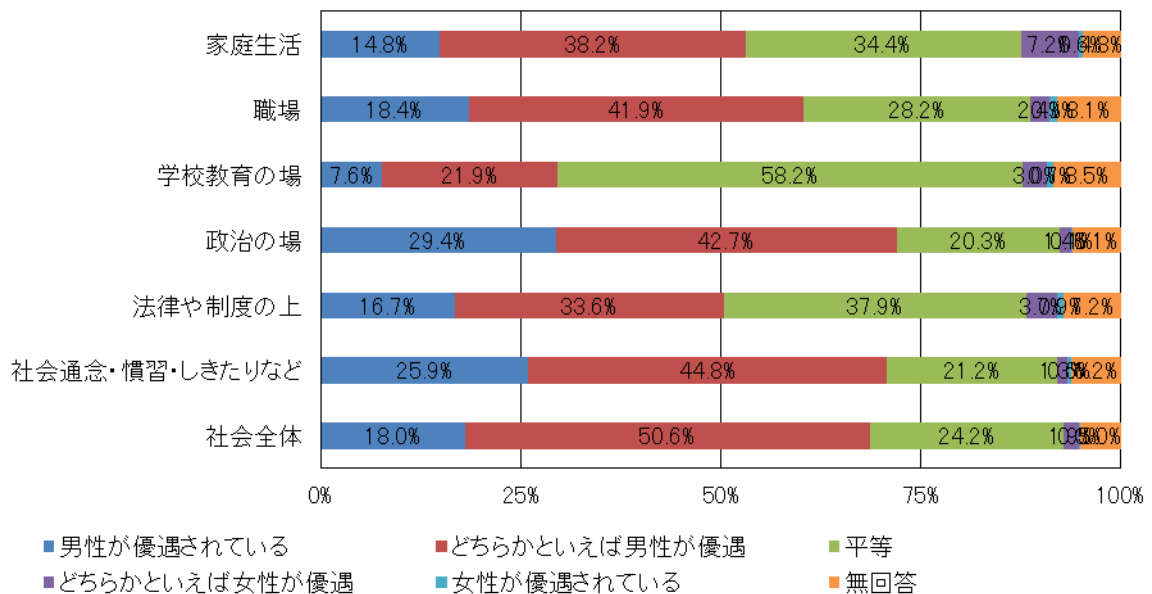
問 10 - (1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思われますか。



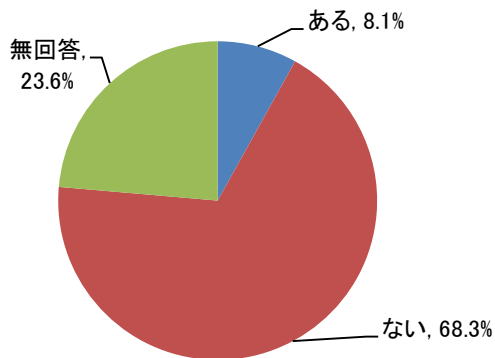
問 10 - (2) 社会生活における次の場面について、男女平等であると思いますか。

7つの場面における男女の平等感について、「平等」と答えた人の割合が最も高かったのは「学校教育の場」が58.2%、次いで「法律や制度の上」が37.9%でした。

「学校教育の場」以外の項目では、全体的に「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」されていると感じている人の割合が高くなっており、中でも「政治の場」「社会通念・慣習・しきたり」については全体の約7割を占めています。

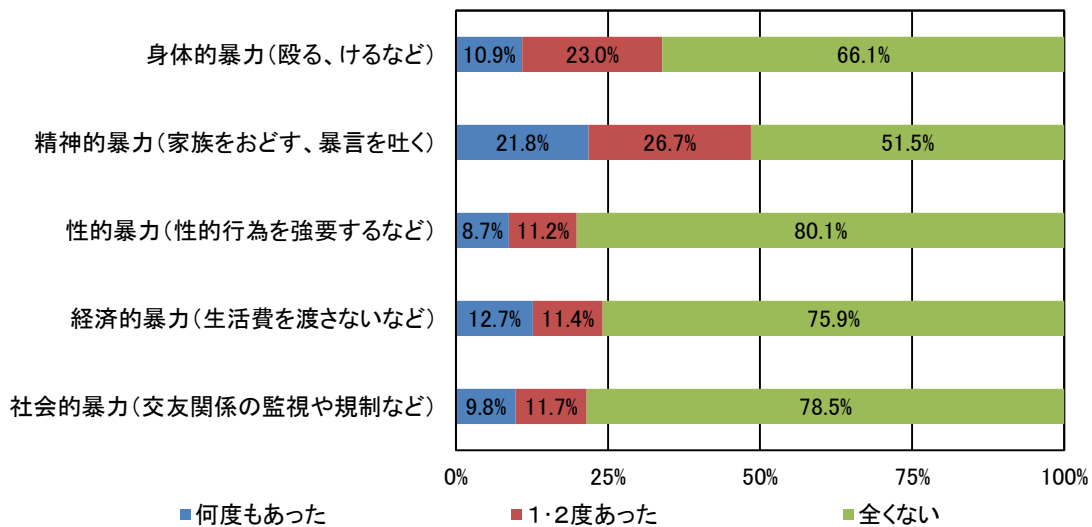


問 10 - (3) これまでに配偶者、パートナー、恋人からドメスティック・バイオレンス（親密な関係にあるパートナーからの暴力）を受けたことがありますか。



配偶者、パートナー、恋人からドメスティック・バイオレンスを受けたことがある人の割合は、全体の1割近くになっています。

暴力の形態として、「精神的暴力」が48.5%と最も多く、続いて「身体的暴力」が33.9%、「経済的暴力」が24.1%、「社会的暴力」が21.5%、「性的暴力」19.9%となっています。



※問10-(3)の選択肢は下記のように分類
○身体的暴力：殴る、けるなど
○精神的暴力：家族をおどす、暴言を吐くなど
○性的暴力：性的行為を強要するなど
○経済的暴力：生活費を渡さないなど
○社会的暴力：交友関係の監視や規制など



問10 - (4) あなたの家庭では、次のような役割は現在どなたが主に担当されていますか。

全ての分野で女性の割合が高くなっています。特に「食事のしたく」は約7割以上、「食事の後片づけ」が6割以上、「掃除」「家計の管理」が約6割近くとなっています。男性は他の分野に比べ「ゴミだし」「自治会などの地域活動」の割合が高くなっています。

